

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第6号

令和4年12月22日

良い雰囲気を作っていきますよう!

今年度はほぼすべての行事を順調に行うことができており、大変うれしく思います。うれしい反面、行事の前後には校長挨拶というのが多く、あっちで挨拶こっちで挨拶と、話下手の私にとっては辛いところでもあります。行事ではないのですが、先日、PTAの役員会で一言話をさせていただいたときに、いつもよりスムーズに話せたという感覚がありました。人数が少なかったせいもあるとは思いますが、保護者の方々が『うんうん』と頷きながら、とても良い表情でこちらに目を向けて聞いて下さっているお陰だと強く感じました。聞いてくれていると感じると、安心感が生まれ話しくなります。これこそがコミュニケーションの基本であると思います。逆もまた然りで、腕組みして仏頂面で、首を傾げられたりすると一気にしゃべれなくなってしまいます。私も、相手に気持ち良く話してもらうために、誠意をもった聞き方で良い雰囲気を作れるようにしていきたいと思います。(私は、話すことも上手にならないといけないのですが…)



12月2日は千葉・南房総地区特別支援学校高等部駅伝大会が、県スポーツセンターで行われました。好天に恵まれ絶好の駅伝日和でした。結果については、担当から出された駅伝便りの結果報告号の通り、ダブル優勝や区間賞も多数獲得と好成績を収めることができました。閉会式では講評として、大会主幹校の市立養護学校、三橋校長先生から「一人一人が自分の力を発揮した素晴らしい大会でした。選手に拍手を。応援してくれた皆さんに拍手を。協力してくれた保護者の方々に拍手を。運営、指導してくれたボランティアや先生方に拍手を。」というお話をいただきました。報告会の際には、選手やサポート員、応援担当が一人一人一言ずつ感想を述べましたが、何人もの生徒が自分の頑張りに加えて、周りの方々への感謝の気持ちを表していました。きっと三橋校長先生の言葉も響いて、言わされるのではなく自分で感じて考えたことを素直に表現できたのではないかと嬉しく思いました。この駅伝大会を通して、本当に高等特支の雰囲気の良さを改めて感じました。先生方の的確な指示やアドバイス、選手一人一人に合わせて檄を飛ばしたり優



しい言葉を投げかけたりという応援、喜びを分かち合う仲間たちと、見ていて清々しい気持ちになりました。集会では「この雰囲気は一人では作れません。みんなで作り上げていくものです。これから先の学校生活、作業班でも学級でも学年でも、今回のような良い雰囲気を作れるように一人一人が考えて行動していきましょう!」と話をさせていただきました。皆さん『うんうん』と頷いて聞いてくれていたことに感謝感謝です。来年も良い雰囲気を作っていきますよう!

校長 三宅 健二郎